



Monthly Retail Sales Report (2012年3月号)

2012年4月5日
 株式会社オートバックスセブン
 IR・広報部
 Tel:03-6219-8718, Fax:03-6219-8762, E-mail: investors@autobacs.com

土日祝日数	前年比(日)	±0	+1	-1	±0	+1	-1	±0	±0	±0	+1	-1	-1	±0	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	通期
国内売上高(全業態)		11年3月	11年4月	11年5月	11年6月	11年7月	11年8月	11年9月	11年10月	11年11月	11年12月	12年1月	12年2月	12年3月	297,544	68,873	71,900	85,841	70,930	140,773	156,771	297,544
全店	額(百万円)	23,633	24,753	22,638	21,482	27,789	23,365	20,747	21,794	26,871	37,176	23,614	20,369	26,944	0.9	0.4	-1.2	0.8	3.8	-0.5	2.2	0.9
	前年比(%)	-4.3	-1.6	5.4	-2.4	5.1	-5.2	-4.4	0.1	1.9	0.6	-3.3	0.6	14.0	0.1	-0.1	-1.4	-0.4	2.6	-0.8	0.9	0.1
既存店	前年比(%)	-4.7	-2.2	5.0	-2.5	5.3	-5.5	-4.9	-0.9	0.2	-0.5	-4.5	-0.5	12.5	0.1	-0.1	-1.4	-0.4	2.6	-0.8	0.9	0.1
国内客数(全業態)		11年3月	11年4月	11年5月	11年6月	11年7月	11年8月	11年9月	11年10月	11年11月	11年12月	12年1月	12年2月	12年3月	38,440	9,631	9,422	10,120	9,267	19,053	19,387	38,440
全店	人数(千人)	3,010	3,463	3,291	2,877	3,388	3,203	2,831	2,961	3,096	4,063	3,185	2,725	3,358	-0.6	-1.2	-3.7	0.5	2.0	-2.4	1.2	-0.6
	前年比(%)	-6.6	-1.2	-0.4	-2.0	1.0	-8.3	-3.4	-1.0	-0.9	2.8	-3.5	-1.6	11.5	-1.2	-1.9	-3.7	-0.2	1.3	-2.8	0.5	-1.2
既存店	前年比(%)	-7.3	-2.0	-1.2	-2.4	1.4	-8.5	-3.7	-1.4	-1.9	1.9	-4.3	-2.2	10.6	-1.2	-1.9	-3.7	-0.2	1.3	-2.8	0.5	-1.2
客単価(全業態)		11年3月	11年4月	11年5月	11年6月	11年7月	11年8月	11年9月	11年10月	11年11月	11年12月	12年1月	12年2月	12年3月	1.2	1.8	2.3	-0.2	1.2	2.0	0.4	1.2
既存店	前年比(%)	2.8	-0.2	6.2	-0.2	3.8	3.3	-1.3	0.4	2.1	-2.5	-0.3	1.7	1.6	1.2	1.8	2.3	-0.2	1.2	2.0	0.4	1.2

国内 商品別売上高 既存店前年比(%)	11年3月	11年4月	11年5月	11年6月	11年7月	11年8月	11年9月	11年10月	11年11月	11年12月	12年1月	12年2月	12年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	通期
カー用品(車検含む)	-5.7	-2.4	4.7	-3.1	5.1	-6.1	-6.0	-2.1	-0.6	-1.1	-5.7	-1.6	10.9	-0.7	-0.4	-2.0	-1.2	1.2	-1.2	-0.2	-0.7
サービス	-0.6	3.2	6.6	4.6	9.8	-0.4	-2.2	-0.3	1.9	1.4	-1.1	0.6	10.7	3.1	4.8	2.7	1.2	3.9	3.7	2.5	3.1
車検・整備	5.5	-1.6	0.2	5.9	6.3	4.3	1.4	5.4	7.3	6.0	2.3	2.9	5.9	4.0	1.5	4.0	6.4	4.0	2.8	5.1	4.0
タイヤ	-4.9	2.3	28.4	-7.4	-4.3	-2.3	1.4	5.5	6.3	2.6	-6.1	-6.2	13.6	2.9	7.8	-2.0	4.3	0.2	3.0	2.9	2.9
ホイール	-9.4	5.3	9.3	-4.9	-3.6	-3.6	-4.8	5.5	7.4	4.8	-6.3	-1.5	28.1	3.7	3.8	-3.9	5.7	4.8	0.3	5.4	3.7
カーエレクトロニクス	-10.1	-6.6	1.2	-4.4	16.7	-5.9	-13.7	-8.8	-9.4	-6.7	-3.9	2.1	11.5	-1.8	-3.7	0.8	-8.2	3.9	-1.3	-2.5	-1.8
オイル	-7.0	-5.3	-3.0	-0.2	-0.4	-6.2	-2.4	0.1	-3.7	0.1	-2.2	-3.5	5.6	-1.8	-2.9	-3.1	-1.0	0.0	-3.0	-0.5	-1.8
バッテリー	13.8	-2.3	-2.5	-1.6	-0.5	-15.4	-14.6	-5.9	-4.0	16.1	-10.6	16.6	-7.1	-2.9	-2.1	-10.9	3.6	-2.5	-7.5	0.7	-2.9
メンテナンス	8.9	7.5	6.1	0.8	-1.2	-5.9	-1.1	-7.3	-0.8	-21.5	-22.0	-18.1	-5.1	-9.4	5.0	-2.8	-14.1	-16.7	1.2	-15.4	-9.4
アクセサリ	-9.7	-9.7	-7.8	-5.5	-2.0	-12.3	-6.8	-1.0	0.2	3.9	3.8	6.2	21.6	-1.4	-7.8	-7.0	1.2	10.8	-7.4	5.8	-1.4
カーリペア	-8.4	-0.6	-4.0	-0.7	1.6	-6.7	5.0	3.5	-4.7	7.6	-8.1	-5.3	12.1	-0.1	-1.9	-0.4	2.5	-0.6	-1.2	1.1	-0.1
カーズパーツ	-15.8	-12.7	-12.2	-10.4	-8.9	-13.3	-7.9	-8.8	-8.5	-4.2	-3.6	-2.4	9.7	-7.1	-11.8	-10.1	-6.9	1.0	-11.0	-3.4	-7.1
カーレジャー	-15.5	-25.2	-23.0	-5.6	3.2	-9.7	-16.5	-22.1	-13.9	-10.4	-9.5	-2.2	-2.7	-11.5	-18.7	-7.0	-15.4	-4.9	-12.5	-10.4	-11.5
モーターサイクル	64.5	12.1	1.1	7.5	2.2	34.7	-9.7	22.7	-18.7	-1.7	-8.5	21.4	-11.1	2.7	7.0	8.5	-2.0	-3.3	7.8	-2.7	2.7
新車・中古車	7.3	1.8	10.3	6.8	8.1	4.3	8.7	19.9	18.5	13.2	21.2	11.5	31.3	13.5	6.2	7.1	17.3	22.4	6.7	20.2	13.5
中古カー用品	-8.4	-9.9	-5.2	-6.2	-1.1	-5.1	2.3	-1.3	-4.7	3.2	-10.1	-4.2	11.7	-2.8	-7.2	-1.4	-0.8	-1.7	-4.3	-1.2	-2.8
燃料	16.6	10.2	7.0	4.2	10.9	7.6	5.3	16.8	14.4	26.8	18.2	19.6	12.8	12.8	7.1	8.0	19.6	16.7	7.5	18.1	12.8

国内業態別店舗売上高 前年比(主要3業態、既存店)	前年比(%)	11年3月	11年4月	11年5月	11年6月	11年7月	11年8月	11年9月	11年10月	11年11月	11年12月	12年1月	12年2月	12年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	通期
オートバックス	-4.5	-1.8	6.3	-3.0	5.8	-5.5	-5.0	-1.6	0.4	-0.4	-5.6	-0.4	11.2	0.0	0.3	-1.2	-0.4	1.7	-0.5	0.5	0.0	
スーパーオートバックス	-8.3	-3.7	1.5	-3.0	3.8	-7.5	-8.3	-3.4	-3.0	-2.7	-6.0	-3.9	10.1	-2.2	-1.8	-3.6	-3.0	0.1	-2.7	-1.6	-2.2	
オートハローズ	1.6	1.3	-7.3	-19.6	6.6	-6.3	-16.6	2.6	21.6	-19.5	2.2	32.7	40.0	-3.0	-4.6	-4.7	4.4	22.9	-4.7	9.1	-3.0	

海外店舗売上高 前年比(全店)	5.3	9.6	1.4	6.0	3.0	0.7	-3.5	5.7	-0.7	-3.0	-5.3	7.4	-2.0	2.2	6.5	2.0	0.3	-0.1	4.2	0.1	2.2
-----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	------	------	------	-----	------	------------	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----

店舗数	オートバックス	+2	+1	+1		+2	+1	+6	+4		+1	+1	+6	430	+4	+3	+10	+8	+7	+18	+25
	スーパーオートバックス													76							
	オートハローズ			-1	-2									1	-3	-1				-4	-4
	オートバックス セコハン市場													18				-1	-2		-3
	オートバックス エクスプレス						-1	-1						5		-2				-2	

2012年3月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月比売上は全店ベースで+14%、既存店ベースで+12.5%。売上増減要素:①特に東北、北関東などにおける昨年の震災の影響の反動、②新車販売好調に伴うカーエレクトロニクス、アクセサリの好調、③夏タイヤへの履き替え需要の発生、④中旬に行った販促キャンペーンによる販促効果。
【商品別】 **タイヤ・ホイール:**震災後の売上減の反動、ノーマルタイヤへの履き替えが昨年に比べて早くなった地域があったことなどの要因に加え、中旬以降行った販促活動の効果も重なり大きく伸長。ホイールは冬タイヤとのセット組や、ドレスアップ商品が好調。
カーエレクトロニクス:震災の反動、新車需要の増加に伴うカーナビゲーション、オーディオなどの売上が好調。販促による押し上げ効果もあった模様。数量前年比で見ると、据え置き型ナビゲーションは+約19%、ポータブルナビゲーションは+約28%。地デジチューナーは、東北地方でのアナログ放送停止に伴い台数ベースでは前年比プラス。**バッテリー:**昨年は震災の影響でバッテリーの売上が伸びたが、今年は反動で前年比マイナス。**メンテナンス:**昨年は震災の影響で、自動車用AC/DCインバーターや安全用品などの売上が好調だったが、今年はその反動で前年比マイナス。**アクセサリ:**新車販売台数の増加に連動して車内アクセサリ、インテリア用品の売上が好調。また、スマートフォン関連用品(ホルダー、充電ケーブルなど)の売上也引き続き好調。**車検・整備:**新車販売の好調などにより車検実施台数の伸びは鈍化。台数前年比+5.2%、金額前年比+6.8%(全店ベース)。**車販売:**台数前年比+23.4%、金額前年比+32.6%(全店ベース)。エコカー補助金制度の効果と昨年の震災後の需要減からの反動などで、低燃費車・軽自動車を中心に新車および中古車が好調。
出店、退店状況 3月度 国内:新店6、リノベーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店0、海外:出退店なし
 3月末 国内店舗数: 530店舗(オートバックス430、スーパーオートバックス76、オートハローズ1、オートバックスセコハン市場18、オートバックスエクスプレス5)

・最新データにつきましては、速報値となっております。尚、過去に遡って調整が入る場合も御座います。
 ・「全業態」は、スーパーオートバックス、オートバックス、オートハローズ、オートバックスカーズ、オートバックスセコハン市場、オートバックスエクスプレスを指します。
 ・「カー用品」には、セコハン市場やオートバックスエクスプレスで一部販売している新品のカー用品も含まれています。

2011年4月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	今月より前年比売上は全業態ベースで掲載します。前年同月比売上は全店ベースで▲1.6%、既存店ベースで▲2.2%。【概要】①自動車販売台数の減少の影響によりカーエレクトロニクスやアクセサリーの売上が低調、②販促自粛の影響もありアクセサリー、洗車用品、スポーツ用品などの嗜好品を中心に売上は低調、③北日本を中心にバッテリーや緊急安全用品の需要は引き続き強い、④夏タイヤへの履き替えが降雪地域で進む、⑤先月の反動か、東北地方においてはほぼ全商品において売上好調。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 降雪地域において夏タイヤへの履き替えが進んだことにより全体をけん引。非降雪地域では昨年販促を実施しているため前年比マイナスの傾向。 カーエレクトロニクス: 地デジ対応で据え置き型ナビゲーションの販売が台数ベースで好調だが、売れ筋価格帯の下落で金額ベースでは前年マイナス。地デジチューナーは全国的に好調で金額・数量共に前年比3倍強の売れ行き。 オイル: 必需品に需要が集中する傾向があり、数量ベースで不調。 メンテナンス: 全国的に花粉の影響かエアコンフィルターが好調。北日本、関東エリアで応急安全・ガレージ用品・電装部品(懐中電灯などを含む)の需要が引き続き強い。 アクセサリー: 新車購入時に良く売れるアクセサリーやインテリアの売上が減少。レーダー探知機などの嗜好品が不調であることも影響。 カーリペア: 震災の影響からか東北や北関東を中心に好調。 車検: 販促自粛の影響か中部以西で前年並みとなった。東北地方では前年比プラス10%以上。全店ベースで台数前年比+3.9%、金額前年比▲1.2%。 車販売: 新車販売が大幅に落ち込むも買取に対する取り組みを継続的に強化してお前年比プラス。東北地方ではプラス30%以上の伸び。全店ベースで台数前年比+0.7%、金額前年比+1.7%。
出店、退店状況	4月度 国内:新店2、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店1、退店0、海外:出退店なし 4月末 国内店舗数: 515店舗(オートボックス406、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 5、オートボックスセコハン市場 21、オートボックスエクスプレス 7)

2011年5月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで+5.4%、既存店ベースで+5.0%。【概要】①新車販売の減少の影響は引き続きあるものの、全国的に売上好調、②タイヤは夏タイヤへの履き替えや値上げ前の駆け込み需要により好調、③カーエレクトロニクスも地デジ関連商品が引き続き牽引し好調、④東北地方は震災の影響(車検、メンテナンス関連需要)があり、特に好調。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 降雪地域における夏タイヤへの履き替え、値上げ前の駆け込み需要などにより好調。GW時期のセールや下旬のセールが梅雨入りと重なったことが伸長の原因。 カーエレクトロニクス: 地デジ対応で据え置き型ナビゲーションの販売が台数ベースで好調。地デジチューナーは全国的に好調で金額・数量共に前年比4倍強の売れ行き。 メンテナンス: 被災以来の安全用品へのニーズが継続し、関東以北において売上好調。黄砂によりワイパー、空気清浄機の需要も伸びている。(空気清浄機173.1%、ワイパー124.9%) アクセサリー: 新車販売台数の落ち込みにより新車購入時に良く売れるアクセサリーやインテリアの売上が減少。 車検: 車検満了日への延長措置や、被災により整備工場やディーラーなど今までの入庫先を失った車検需要が流れ込み好調であった東北地方以外では車検に関する販売促進を4月に控えたため、5月以降に車検時期が到来する顧客へのアプローチが出来なかった。全店ベースで台数前年比+6.7%、金額前年比+0.6%。 車販売: 全店ベースで台数前年比+10.6%、金額前年比+10.3%。北海道や関西、南日本は、買い取り台数の増加により業販が前年比150%超伸びたことが好調の要因。通常生産まで程遠い新車は販売台数前年比73%、中古車販売台数は東北が牽引したことと新車からの代替需要もあり前年比104%。
出店、退店状況	5月度 国内:新店0、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店1、退店0、海外:出退店なし 5月末 国内店舗数: 515店舗(オートボックス407、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 4、オートボックスセコハン市場 21、オートボックスエクスプレス 7)

2011年6月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで▲2.4%、既存店ベースで▲2.5%。【概要】①タイヤ・ホイールは5月の反動と昨年度キャンペーンを実施していることから減少、②カーエレクトロニクスは地デジチューナーが好調で貢献。しかし、ナビゲーションの売れ筋の移行に従う単価ダウンなどによる減少を補えず。③低調な新車販売によりアクセサリーの販売が不振。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 値上げ前の駆け込み需要などで前月に好調だったこと、昨年度に新聞広告によるキャンペーンを行ったことの影響により減少。タイヤの単価は6月からの店頭での値上げにより若干上昇。 カーエレクトロニクス: アナログテレビの停波を7月に控え、地デジ関連が好調。地デジチューナーは金額・数量共に前年比5倍強の売れ行き、据え置き型ナビゲーションも地デジ化促進のキャンペーンにより数量ベースでは前年プラス。しかし据え置き型ナビゲーションはメモリー型への売れ筋の移行により金額ではマイナス、またこれによりポータブルナビも数量、金額共に減少。ETC車載器は高速道路料金の変更の影響もあり売上が減少。 メンテナンス: 先月に引き続き震災の影響などにより電装部品、安全用品、インバーター、ワイパーなどの売上好調。 アクセサリー: 新車販売台数の落ち込みにより新車購入時に良く売れるアクセサリーやインテリアの売上が減少。携帯オーディオ、スマートフォン用のアクセサリーは好調。 車検: 先月まで自粛していた販促活動(DM、テレコール)を再開したことにより回復。 全店ベースで台数前年比+10.3%、金額前年比+6.0%。 車販売: 全店ベースで台数前年比+7.1%、金額前年比+6.8%。新車販売は低調だが、店舗における中古車の買取を積極的に展開し、東北地方を中心とする売上に繋がった。
出店、退店状況	6月度 国内:新店0、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店2、退店1、海外:出退店なし 6月末 国内店舗数: 514店舗(オートボックス408、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 2、オートボックスセコハン市場 21、オートボックスエクスプレス 7)

2011年7月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで+5.1%、既存店ベースで+5.3%。①地デジ需要により地デジチューナーとナビゲーションが全体の売上げをけん引、②休日前年より1日分多いこともあり、全国的に好調(北日本が特に好調)、③タイヤが駆け込みの影響の残りや低価格帯へのシフトによる単価ダウンによりマイナス。新聞広告の数がすくない影響もあり。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 月初の新聞広告で中旬までは好調だったが、月末にかけて台風の影響や昨年実施した中旬以降の新聞広告が無かったことにより落ち込んだ。 カーエレクトロニクス: 地デジチューナーは数量ベースで約10倍、金額ベースで約9倍の伸び。ナビも全体で金額ベース+5%、数量ベースで+14.8%の伸び、特にフルセグの地デジが見ることが出来る据え置き型が好調。 バッテリー: 前半は猛暑により数量が伸びたが、天候が涼しくなった後半に伸びを失った。 メンテナンス: 東北地方での需要は落ち着くも、ガレージ用品、DIYのLED関連が好調。 アクセサリー: 新車の出荷や来店客数の増加に伴い回復傾向。日除け、スマートフォン関連グッズ、芳香消臭剤が好調。 カーリペア: 新製品のコーティング剤が好調で売上げを牽引。 車検: 引き続き会員顧客への電話販促の実施などにより台数ベースで+13.3%と好調。 車販売: 前年比+7.3%、金額前年比+8.1%。店舗における買取りに対する意識の向上や本部の施策により、買取台数が伸び、全体の売上げを牽引した。
出店、退店状況	7月度 国内:新店0、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店1、海外:出退店なし 7月末 国内店舗数: 513店舗(オートボックス408、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 2、オートボックスセコハン市場 21、オートボックスエクスプレス 6)

2011年8月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで▲5.2%、既存店ベースで▲5.5%。前年の新車特需と猛暑需要の反動、高速道路のETC休日料金割引の廃止、休日数の前年比1日減などの影響により、車検・整備とモーターサイクル以外のほぼ全商品カテゴリーにおいて前年割れとなった。カーエレクトロニクスにおいては、地デジチューナーの好調が続いたものの、新製品導入の遅れや単価が下落したナビゲーション、ETC車載器のマイナス分をカバーするには至らなかった。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 8月初めの新聞広告により出だし好調だったが、6月の値上げ以降は低価格帯に需要がシフトし単価が下落、台風などの影響で数量も伸びず、数量・金額ともに前年割れ。ホイールは買取キャンペーンなどが奏功し、数量ベースでは前年プラス。 カーエレクトロニクス: 地デジチューナーは売上増のペースは落ちているものの、数量ベースで約5倍、金額ベースで約4倍の伸びを維持。据え置き型ナビゲーションは地デジ需要もあり、数量ベースでは前年比プラスとなるも、単価の下落などにより金額ベースではマイナス。ETC車載器の売上減もあり、全体でも前年割れ。 バッテリー: 前年の猛暑需要の反動で、前年割れ。 アクセサリー: 前年の新車特需の反動の影響を受け、車内アクセサリーの売上が減少。また前年の猛暑の反動で、日除けなどの需要も落ち、全体でも前年割れ。 車検: 会員顧客への電話販促の継続実施などにより台数ベースで+9.7%、金額ベースで+4.3%と好調だったが、競争が激しく単価は下落。 車販売: 台数前年比+3.5%、金額前年比+4.3%。東北地域(被災地)では良質車両の要望が増え新車・中古車売上はともに好調。特需のあった前年に比べ、新車販売は下落したが、買取査定との推進により、全体では前年比プラスを達成。
出店、退店状況	8月度 国内:新店2、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店1、海外:出退店なし 8月末 国内店舗数: 514店舗(オートボックス410、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 2、オートボックスセコハン市場 21、オートボックスエクスプレス 5)

2011年9月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで▲4.4%、既存店ベースで▲4.9%。売上増減要素:①前年は、8月までの新車販売増の影響が残り、カー用品需要(ナビゲーション、ETC車載器、インテリアなど)が増加したが、今年はその反動が発生、②据え置き型ナビゲーションにおける単価の下落、③昨年の猛暑需要の反動(特にバッテリー)、④地デジチューナーの好調(売上増ペースは鈍化)、⑤東北地方での堅調な売上
【商品別】	タイヤ・ホイール: 残暑の影響で冬タイヤの出だしが遅れた一方、ノーマルタイヤは単価アップの影響もあり前年比プラス、ホイールはお買い得感のあるドレスアップホイールが人気で数量ベースでは前年比プラスだが、単価下落により前年比マイナス。 カーエレクトロニクス: 地デジチューナーは売上増のペースは落ちたものの、数量・金額ベース共に前年比約2倍強を維持。ナビゲーションは前年の新車特需の反動と地デジ特需によるナビ買い替え需要のプラスマイナス両面の影響があった。前年比マイナスの大きな要因は、据え置き型ナビの売れ筋価格帯の下落。 バッテリー: 台風による天候悪化と前年の猛暑の反動から前年比マイナス。 メンテナンス: 台風など降雨が多かったことからワイパーブレードが必要増。 アクセサリ: レーダー探知機は新製品の発売が無いこともあり大きく減少。前年の新車特需の反動によりインテリアの売上是依然として前年を割れているが、芳香剤や車内アクセサリは前年並みとなった。スマートフォン関連商品は好調。 カーリペア: 売れ筋のコート剤が売上に牽引し好調。 車検: 台数ベースで+4.7%、金額ベースで+1.5%、天候の影響などもあり伸び悩む。 車販売: 台数前年比+6.7%。特に関西地域のお店において販促企画により小売台数、買取台数が伸長。
出店、退店状況	9月度 国内:新店2、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店1、退店2、海外:出退店なし 9月末 国内店舗数: 514店舗(オートバックス411、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 1、オートバックスセコハン市場 21、オートバックスエクスプレス 5)

2011年10月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで+0.1%、既存店ベースで▲0.9%。売上増減要素:①スタッドレスタイヤが早めの販促活動により好調、ホイールも特にセット組みの販売が好調、②据え置き型ナビゲーションは台数好調だが単価下落、③昨年より好天の日が多くワイパーの売上が不調。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 早めの品ぞろえや販促の実施などにより、全国的に冬タイヤの売上が好調だった。ホイールも下取り企画やお買い得感のあるセット販売により好調。 カーエレクトロニクス: ナビゲーションは、前年の新車特需の反動はあったが、新製品の発売により台数ベースでは前年比プラス。ただし、売れ筋価格帯の変化により単価は下落。ETC車載器の売上は昨年の反動もあり減少。地デジチューナーは前年比プラスで推移。 バッテリー: 前年は気温変化が激しく、10月は気温が下降したが、今年は全般的に温暖だったため需要が縮小。 メンテナンス: 天候が全体的に良かったことなどにより、ワイパーの売上は前年比マイナス。 カーリペア: 好天の影響によりワックス・コート剤など洗車用品が好調。 アクセサリ: 新車販売の回復に伴い車内アクセサリ、インテリアが回復傾向。スマートフォン関連商品の販売は引き続き好調。レーダー探知機は単価下落の影響もあり売上縮小。 車検: 台数ベースで+8.3%、金額ベースで+5.4%、従来販売台数の少なかった店舗で重点販売施策を講じていることなどが功を奏した。 車販売: 台数前年比+14.1%、金額前年比+19.9%。前年比では新車販売が回復。店舗での買取が全国的に進み、中古車販売や業者間販売が伸長。
出店、退店状況	10月度 国内:新店6、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店1、退店1、海外:出退店なし 10月末 国内店舗数: 519店舗(オートバックス417、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 1、オートバックスセコハン市場 20、オートバックスエクスプレス 5)

2011年11月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで+1.9%、既存店ベースで+0.2%。売上増減要素:①北海道など降雪エリアの積雪、月末の新聞広告によるスタッドレスタイヤとホイールの販売好調、②ETC車載器の需要減が続いていることとポータブルナビゲーションの販売低迷によるカーエレクトロニクス商品の売上不振、③査定・買取台数の伸びや新車需要の戻りによる車販売増。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 中旬以降、北海道などの降雪をきっかけに降雪エリアを中心にスタッドレスタイヤの販売が好調。月末に実施した新聞広告の効果もあり、スタッドレスタイヤとのセット組みのホイールも好調に推移。 カーエレクトロニクス: 据え置き型ナビゲーションは台数ベースでは前年比プラス、売れ筋商品が据え置き型に移っていることからポータブルナビの売上が不調。ETC車載器の販売減も続く。地デジチューナーは伸びが鈍化しているものの、数量前年比プラスで推移。 タイの洪水は主力AVNの品揃えに一部影響を与えているが、売上への影響は軽微。 バッテリー: 降雪の影響等により北日本などの降雪地区で需要が回復するも、その他エリアで不振が続いていることにより前年割れ。 メンテナンス: 降雪などによりワイパーとタイヤチェーンの売上が好調に推移。 カーリペア: 天候不順によりワックスなど洗車用品の売上が不調。 アクセサリ: 新車販売の回復に伴い車内アクセサリ、インテリア用品が回復傾向。レーダー探知機は単価下落の影響もあり売上縮小。 車検: 台数前年比+10.7%、金額前年比+7.3%。継続的な取り組みにより堅調に推移。 車販売: 台数前年比+9.6%、金額前年比+18.5%。査定への取り組み強化により買取台数が伸長、また前年対比では中古車よりも新車の売れ行きが好調。
出店、退店状況	11月度 国内:新店5、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店1、海外:新店1(シンガポール ロイヤン店) 11月末 国内店舗数: 523店舗(オートバックス421、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 1、オートバックスセコハン市場 20、オートバックスエクスプレス 5)

2011年12月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで+0.6%、既存店ベースで▲0.5%。前年12月は年末の降雪により売上が大きく伸びたが、今年度も好調だった前年の水準を維持。売上増減要素:①日本海側に加え関西・東海における降雪や販促効果などにより、スタッドレスタイヤとホイールのセット組やバッテリーの売上が大幅伸長、②前年12月は年末の大降雪でタイヤチェーンや冬用ワイパーの売上が大幅伸長したが、今年は反動で下落、③ナビゲーションや地デジチューナーは単価下落が継続。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 降雪により山陰、東海、関東などにおいてスタッドレスタイヤとホイールの販売が好調、数量は前年並みも単価の上昇もあり金額は前年比プラス。 カーエレクトロニクス: 据え置き型ナビゲーションは台数ベースでは前年比プラスだが単価は下落、ポータブルナビゲーションの売上も伸びなかったため、カーエレクトロニクス全体のマイナスの主な原因となる。 地デジチューナーは数量が前年比でプラスだったものの、単価下落により売上が減少。 バッテリー: 全国的には月初から気温が下がったため売上が好調に推移。 メンテナンス: 昨年度は年末に非降雪地域においても降雪があったため冬用ワイパーとタイヤチェーンの需要が拡大したが、今年度は大きな需要には至らず。 カーリペア: 昨年度に比べ12月後半は天候が安定していたため洗車関連商品が好調に推移。 アクセサリ: 新車販売台数の回復に連動して車内アクセサリ、インテリア用品の売上が回復傾向。 スマートフォン関連商品の売上拡大が継続中。 車検: 台数前年比+8.0%、金額前年比+6.0%。 車販売: 台数前年比+2.3%、金額前年比+13.2%。前年比では新車販売が好調で、中古車販売は伸び悩んだが、消費者ニーズが比較的高品質車へシフトしつつあり単価が上昇。
出店、退店状況	12月度 国内:新店0、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店0、海外:出退店なし 12月末 国内店舗数: 524店舗(オートバックス422、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 1、オートバックスセコハン市場 20、オートバックスエクスプレス 5)

2012年1月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで▲3.3%、既存店ベースで▲4.5%。1月は首都圏で初雪が観測されたものの、全国的には12月までにある程度降雪があったこと、また前年1月は全国的な大雪でスタッドレスタイヤ・タイヤチェーンなど季節商品を中心に売上が伸びたことなどにより、前年割れ。売上増減要素:①前年は1月に各地で大雪が降ったことにより、冬季商品が売上也大幅伸長したが、今年はタイヤチェーン、バッテリーを中心に反動減発生、②新車販売の増加に伴い、アクセサリ商品は好調に推移、③新車販売の増加により、ナビゲーションも数量では前年比を上回った。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 中旬にかけて関東などで降雪があったが、前年は1月に各地で集中的な降雪に見舞われたことにより、反動減が発生し前年割れ。 カーエレクトロニクス: 新車販売台数の増加により、据え置き型ナビゲーション、ポータブルナビゲーションともに台数ベースでは前年比プラス。しかし売れ筋価格帯の変化に伴う単価下落により、金額ベースでは前年比マイナス。 地デジチューナーは数量のみ前年比で15%程度のプラス。 バッテリー: 前年度の反動および、今年度は12月までにある程度販売が進んだことにより前年割れ。 メンテナンス: 前年度は非降雪地域でのまとまった降雪により、タイヤチェーンの需要が拡大したが、今年度はその反動で前年実績には至らず。 アクセサリ: 新車販売台数の増加に連動して車内アクセサリ、インテリア用品の売上が好調。芳香・消臭剤、スマートフォン関連商品が売上にけん引。 車検: 新車販売の伸びの影響で車検実施台数の伸びが鈍化。台数前年比+3.6%、金額前年比+16.6%。 車販売: 台数前年比+21.2%。新車販売が好調で売上をけん引。中古車も査定と買取台数が伸び、前年比プラス。
出店、退店状況	1月度 国内:新店1、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店2、海外:出退店なし 1月末 国内店舗数: 523店舗(オートバックス423、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 1、オートバックスセコハン市場 18、オートバックスエクスプレス 5)

2012年2月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで+0.6%、既存店ベースで▲0.5%。売上増減要素:①昨年の関東における降雪に伴うスタッドレスタイヤやタイヤチェーンの需要が強くなり、今年と同地域における売上が昨年を大きく下回った、②好調な新車販売を背景にカーエレクトロニクス、アクセサリなどの売上が取り込むことができた、③全国的な降雪や気温の低下などによりバッテリーなど冬季商品の売上が好調だった。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 全国的に降雪が多かったため夏タイヤの需要が上がり難いなか、昨年度の関東地方における降雪によるスタッドレスタイヤの売上の反動も大きく、前年割れとなった。 カーエレクトロニクス: 新車販売の好調を背景に、カーナビゲーションにおいて販促企画を実施したことにより売上が増加。バックカメラやドライブレコーダーなどの商品も好調。地デジチューナーは、台数は前年並みだが、金額ベースでは大幅減少。 バッテリー: グループとしての取り組みを強化し、気温の低下の助けもあり販売好調。 メンテナンス: 昨年度の関東の降雪によりタイヤチェーンの売上が好調だったが、今年度は昨年度と比較すると大きく減少。 アクセサリ: 新車販売台数の増加に連動してドリンクホルダーや時計などの車内アクセサリ、フロアマットやシートカバーなどのインテリア用品の売上が好調に推移。また、スマートフォン関連商品も依然として好調。 車検: 新車販売好調の影響などにより車検実施台数の伸びが鈍化。台数前年比+4.4%、金額前年比+4.1%(全店ベース)。 車販売: 台数前年比+9.4%、金額前年比+12.7%(全店ベース)。新車および中古車の販売が好調で売上の増加をけん引した。
出店、退店状況	2月度 国内:新店1、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店1、退店0、海外:出退店なし 2月末 国内店舗数: 524店舗(オートバックス424、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 1、オートバックスセコハン市場 18、オートバックスエクスプレス 5)